

平成 30 年度 第 2 回四万十市子ども・子育て会議 議事録

- 【日 時】 平成 30 年 10 月 25 日(木)午後 2 時～
- 【場 所】 四万十市役所 3 階 防災対策室
- 【出席委員】 10 名
福田委員、堀川委員、長崎委員、高松委員、刈谷委員、岡委員、山沖委員
西委員、岡村委員、山崎委員
- 【欠席委員】 4 名
小島委員、会所委員、福留委員、宮本委員
- 【事務局】 5 名
子育て支援課：西澤課長、竹本補佐、田村保育係長、阿部企画係長
今上企画係管理主幹
- 【業者】 2 名
ニーズ調査受託業者：(株)ぎょうせい四国支社 市川さん、渡邊さん

【要 旨】

1 開会

(1) 会長挨拶

(2) 会議の成立

子ども・子育て会議条例第 6 条第 2 項に基づき会議の成立を報告。

2 議事等

(1) 第 2 期子ども・子育て事業支援計画に係るニーズ調査について

事務局より調査項目等について説明。

<主な説明内容>

- ・ 8 月 27 日にニーズ調査業務の委託について 3 社でプロポーザル形式の審査を行い、(株)ぎょうせい四国支社との委託契約が決定。
- ・ 調査期間は 11 月上旬から配布、締切は 11 月末を予定。
- ・ 調査対象は市内の未就学児童保護者約 900 人(公営・民営・認可外全ての保育所及び幼稚園保護者に施設から配布、保育等の利用がない場合は郵送)と市内小学生保護者約 1,300 人の計約 2,200 人を調査対象とする。
- ・ 未就学児童で兄弟が通う場合は、保育の利用経験から、意見が出やすい上の子どもについて回答。託児所と保育園など、兄弟児が別々の施設を利用している場合はそれぞれに回答、提出いただく。
- ・ 小学生用は未就学児童と質問は同じ。兄弟児が複数通う場合は新しい情報が得られることから下の子どもで回答をしてもらう。
- ・ 前回(H25)の調査項目をベースに国の指針を参考に内容を見直し。市独自の項目など、見直し箇所に加除修正について説明。

■出された意見等

議長(会長)	先ず未就学保護者用で何か質問はないか。
委員	保育所等の運営についての設問で、四万十市には年長まで民営で入所できる保育所はない。全員が公立保育園に行く。イメージではなく、実体験として回答出来るのではないかと思う。
委員	同じくその設問に関して、実体験として回答できるのであれば、メリットだけでなくデメリットも聞いてはどうか。

事務局	委員が言われたようにイメージと書いているが、民間を利用した0～3歳児については実体験で回答いただけるものと思っている。実体験も含めて回答を貰い、公営・民営それぞれのどういうところが良いか、どのようなところを求めているのかというということを把握させていただきたい。 デメリットについては入れるようにしたい。
事務局	単に集計するのみではなく、公営・民営のそれぞれのメリットを利用施設ごとクロス集計して役立てたい。認可外の保育所から公立に上がった方もいるが、細かすぎて質問項目が増え過ぎるため、公営と民営で分けた。
議長(会長)	小学生保護者用で何か質問はないか。 意見がなければ承認ということで良いか。
事務局	事務局で子どもを持つ職員がやってみたが、未就学保護者用で大体20分以上、長い人で30分かかった。小学生用も10分では出来ず、15分くらいかかる。調査に不平不満が出ることが想定される。質問の内容を変えることはないが、回答に不平不満が出ることが想定される。何番を選んだら次はどこにというような並び順やレイアウトの改良、文言の追加など(株)ぎょうせいと協議して改良したい。会長と調整させていただくことを承認いただきたい。
議長(会長)	事務局からももう少し整理して回答しやすい形に変えてということも含めて調査について承認ということで良いか。 ～意見なし～

(2) 子ども子育て検討会の設置について

事務局より検討会の具体的な実施について説明。

<主な説明内容>

- ・ 第1回目会議で承認いただいたとおり、子ども子育て会議に諮る事項の事前協議。有識者、経験者、実務者で検討会を実施して自由闊達な意見をもらう。
- ・ 保育所、NPO、社会福祉協議会等の関係機関に出席を呼び掛ける。各団体3名程度を上限。
- ・ 各団体のメンバーは固定しないが、検討会の中心となる座長2名程度は固定して、子ども子育て会議にオブザーバーとして出席いただくことも検討する。
- ・ 開催時間は参加者の勤務を考慮して午後6時半開始。日当や旅費は支払わない。
- ・ 1回目は11/6。議題は保育所統廃合問題。案内文書は各団体に10/26発出予定。
- ・ 2回目は11月下旬を予定。議題はファミリーサポートセンター事業となる予定。

■出された意見等

議長(会長)	何か質問はないか。より自由な形で意見をもらうという主旨のようだが。
委員	メンバー案に現役の子育て世代がない。仕事で子育てする人と、保護者として子育てする人もいる。保護者の意見は不要か。
事務局	子育て中の方にも是非意見をいただきたい。メンバー案に詳しく書いていないが、子育てサークルの他、保育所・幼稚園・小学校PTAなど、联合会や乳児保育所の方にも案内をしていく予定。
議長(会長)	他に意見はないか。承認ということによろしいか。
	～意見なし～

(3) ファミリーサポートセンター事業について

事務局より事業の具体的な実施について説明。(意見、質問等なし)

- ・ 9月議会で年度内に援助会員の養成に関する補正予算が可決された。国、県からの補助を受ける。
- ・ 料金等、詳細な実施内容は今後検討会で協議していく予定。
- ・ 来年度の早期実施に向けて会員の募集をする。援助会員の養成は11月から呼びかけ、12月の市広報に掲載する。31年1月、3月に養成研修の実施予定。

(4) 保育所整備計画について

事務局より整備計画について現況を報告。(意見、質問等なし)

<主な説明内容>

- ・ 昨年度の子ども子育て会議で承認済み、第2期保育計画の整備内容の進捗状況の説明。
- ・ 公立保育所ではH29年度に八束保育所の移転、H30年度に開所済み。川崎保育所が移転改築中でH31年2月開所予定。今後は愛育園ともみじ保育所を統合、H33年度に開所の予定。
- ・ 私立保育所では、現在めぐみ乳児保育園の増築中。H33年度に1か所の移転改築を予定。
- ・ その他では、家庭的保育事業めいはうすがH30年度開所済み。H33年度に認定こども園の開所の計画案。
- ・ 今の段階では、H33年度の公立保育所の統合、私立保育所の移転、認定こども園の開設については関連性がある。子ども子育て検討会で協議のうえ、子ども・子育て会議に報告させていただく。
- ・ 計画外で具同保育所、中筋保育所の老朽化が進んでおり、建て替えの検討が必要な時期になっているが具体的な計画にはなっていない。今後、計画を更新、施設整備や保育の必要量について、子ども・子育て会議に諮ることになる。

(5) その他

事務局より説明

- ・ 次回会議の予定は2月を予定。
- ・ ニーズ調査の速報値での報告、計画の進捗状況の報告、次年度に向けた取組の提案を行う。
- ・ 現在の委員の任期は31年2月26日まで。次回会議が31年2月27日以降になるよう

あれば再任の相談をする。

- ・ ファミリーサポートセンターの援助会員の講習会の受講、登録について協力依頼。

3 閉会

その他意見なく閉会となる。